



ENAA

S.T.S.

Security Training Session

第5回海外安全対策講座（再案内）

海外出張者・赴任者向け危機管理訓練 H. E. A. T. ®short version

一般財団法人エンジニアリング協会

本年8月22日の予定日からその開催を延期しておりました第5回海外安全対策講座につきまして、同じ内容にて以下のとおり新しい日程で開催しますのでご案内いたします。

お申し込みは当協会、安全対策支援室のページ (<https://www.ena.or.jp/security-solution-group>) の本講座の詳細案内から「お申し込みはこちら」をクリックして、お申し込み情報をご入力ください。

なお、既にお申し込みいただいている皆様は再度参加申し込みは不要です。

日程変更により不参加となる場合にのみ、こちら (antai@ena.or.jp) までメールでご連絡ください。

【開催日程等】

日時：2018年11月6日（火）13:00～16:00

場所：一般財団法人エンジニアリング協会会議室

定員：70名

参加費：会員無料、非会員10,000円（税込）/人

【講師】

千葉 貢（元陸上自衛隊）

リチャード ガルブレイス（元米国海兵隊）

高野 純也（元陸上自衛隊）

【講座の狙いと特徴】

本講座では、日本企業の危機管理体制を総合的に支援する専門組織であるCRISIS MANAGEMENT GROUP（CRISIS MANAGEMENT 株式会社：エンジニアリング協会賛助会員）が、高い専門知識を持ち現場経験も豊富な講師による講義と、海外の赴任先で一般犯罪やテロに巻き込まれた場合の対処方法に関する想定実地訓練（体験型）を提供します。

本講座では誘拐、テロ、暴動、銃火器、爆発物に関する基礎知識及び自らが生活の中で行うべき危機管理や心構えについて、講義を行います。

また、海外の工場やオフィス、レストランなどで事件や武装グループによる襲撃、誘拐などに巻き込まれた際の対処方法、退避方法、基本行動や心構えなどについて、外国人スタッフを含めたトレーナーとともに想定訓練を行います。

赴任地・出張先が現在は危険地域でなくとも、明日の治安状況は誰にも分かりません。ぜひ本講座をきっかけに、海外のみならず国内においてもふだんから危機管理の意識を高めていただければ幸いです。

【問い合わせ先】： 安全対策支援室 田中（裕）、東海林 TEL:03-5405-7201



ENAA

S.T.S.

Security Training Session

【講程】

13:00～14:30

1. テロ等概要【講義】
2. 銃火器・爆発物の解説【講義】
3. 伏せ、脱出【説明・実習】
4. 室内での退避【想定訓練】
5. ファーストエイド（応急処置）【説明・実習】

14:50～15:00（休憩）

15:00～15:45

6. E L C S（危機対応英語）【実演・体験】
7. 車両への強盗【実演・体験】
8. ショップ連れ去り【実演・体験】
9. レストラン【想定訓練】

15:50～16:00（総括および質疑応答）

※本講座では、隠れる・走って逃げるなどの想定を行いますので、動きやすく汚れてもよい服装（スカートではなくパンツ）でご参加ください。また、かかとの低い靴でご参加ください。肉体的・精神的にストレスを与える場面があります、予めご了承ください。

※本講座で使用した資料の取り扱いについて

本講座で使用した資料の著作権は、特に記載のない限りCRISIS MANAGEMENT GROUPに帰属します。参加企業外での資料および講義内容の無断転載、画像、音声、映像の無断複製・転用を禁じます。

【講師のプロフィール】

千葉 貢（元陸上自衛隊）

32年間陸上自衛隊勤務の中、カンボジアPKO派遣や陸上自衛隊小平学校語学教育部で教官を経て外務省へ出向。在グアテマラ日本大使館にて勤務後、自衛隊情報保全隊に所属。

現在、CMS S株式会社にて情報分析と危険地でのセキュリティ業務ならびに安全管理責任者として務める。



ENAA

S.T.S.

Security Training Session

リチャード ガルブレイス（元米国海兵隊）

米国海兵隊において分隊長等として4年間勤務。この間、湾岸戦争（デザートストーム作戦）に参加。現在、CMS S株式会社にて危険地域の現地調査員ならび訓練、セミナーの主インストラクターを務める。

高野 純也（元陸上自衛隊）

31年間、陸上自衛隊に勤務。

主に日米共同訓練及び多国間演習、災害派遣業務、英語教官等を務める。

また、国連平和維持活動(PKO)では東アフリカ地域へ派遣され、各国軍・警察との渉外業務を務める。

現在、CMS S株式会社にて危険地域の現地調査員ならびに危機管理訓練講師を務める。

以上